

Max Classroom.net

入試問題アプローチ 2018

千葉大学

(試験時間 90分)

(英作文 60分)

A 入試概況

過去3年間の入試概況

	2018年度				2017年度				2016年度			
	定員	受験者	合格	倍率	定員	受験者	合格	倍率	定員	受験者	合格	倍率
前期	1,748	6,423	1,953	3.3	1,750	6,412	1,949	3.3	1,749	6,426	1,946	3.3
後期	361	1,836	429	4.3	397	2,395	462	5.2	396	2,226	482	4.6
合計	2,109	8,259	2,382	3.5	2,147	8,807	2,411	3.7	2,145	8,652	2,428	3.6

前・後期別(方式別)入試：過去3年間の受験者数、合格者数、倍率

		2018年度入試			2017年度入試			2016年度入試		
		受験者	合格	倍率	受験者	合格	倍率	受験者	合格	倍率
文	前期	455	141	3.2	489	135	3.6	418	140	3.0
	後期	173	25	6.9	174	30	5.8	138	25	5.5
法政経	前期	963	321	3.0	1,023	341	3.0	1,015	346	2.9
	後期	324	81	4.0	565	75	7.5	508	76	6.7
教育	前期	885	342	2.6	823	348	2.4	894	338	2.6
国際教養	通常型	427	96	4.4	274	94	2.9	330	92	3.6
	特色型	14	10	1.4	23	12	1.9	17	12	1.4
理	前期	696	156	4.5	585	158	3.7	577	159	3.6
	後期	292	77	3.8	294	71	4.1	359	74	4.9
工	前期	1,764	502	3.5	1,853	503	3.7	1,811	499	3.6
	後期	699	159	4.4	888	178	5.0	697	20	3.5
医	前期	283	103	2.7	284	103	2.8	289	103	2.8
	後期	76	20	3.8	67	22	3.0	92	20	4.6
薬	前期	361	68	5.3	325	66	4.9	368	66	5.6
	後期	75	15	5.0	146	14	10.4	169	17	9.9
看護	前期	171	56	3.1	140	53	2.6	158	53	3.0
	後期									
園芸	前期	404	158	2.6	593	136	4.4	549	138	4.0
	後期	197	52	3.8	261	72	3.6	263	68	3.9
		8,259	2,382	68	8,807	2,411	75.3	8,652	2,246	75.1

* 合計の倍率は全体受験者÷全体合格者の計算式で算出

2015年度からの入試変更と国際教養の新設で2017年度、2018年度と国公立の志望者数全国1位となった千葉大学。入試変更で旧帝大と並ぶレベルに移行し、難関国立層を取り込み始めるとともに、一橋大学の後期廃止による上位受験生の流入が見られた。特に、法政経は難関校との併願関係が強まっているようだ。

MAX 入試問題アプローチ 2018 千葉大学

また、3年目を迎えた国際教養の通常型（英語外部試験利用可）は初年度から一定の人気があったが、特色型は倍率、合格者平均偏差値が格段に低いものの、小論文と英語面接がハードルになっている。園芸は入試変更（個別試験で理科1科目から2科目、さらに数Ⅲ必修）を嫌って、志願者が大幅に減り、倍率、合格偏差値ともに下げた。

過去3年間の合格者のセンター900集計 得点率平均（Benesse集計）

	一般入試 前期			一般入試 後期		
	'18	'17	'16	'18	'17	'16
文	78.3	79.4	76.6	79.7	79.1	77.9
法政経	76.8	77.0	75.6	82.1	82.1	79.0
教育	71.6	73.0	72.4			
国際教養						
	通常	76.6	77.4	74.3		
	特色	71.3	62.8	68.1		
理	75.8	76.8	78.0	82.0	83.6	83.6
工	76.1	76.3	76.2	80.8	80.2	80.8
医	89.4	90.2	90.2	92.0	91.8	88.8
薬	84.8	85.0	86.9	88.8	88.6	87.8
看護	74.4	77.0	77.7			
園芸	73.6	75.1	75.0	76.0	76.7	75.7

過去3年間の合格者の入試方式別の偏差値（合格者の平均）

	一般入試 前期			一般入試 後期		
	'18	'17	'16	'18	'17	'16
文	63.1	63.6	62.7	63.2	63.8	63.3
法政経	62.9	62.1	62.4	68.5	67.5	66.8
教育	57.9	57.0	57.4			
国際教養						
	通常	62.6	61.4	61.9		
	特色	53.8	47.6	54.6		
理	60.7	60.6	60.2	66.2	67.2	69.1
工	60.3	60.3	60.0	65.7	65.3	63.9
医	77.4	77.9	75.8	80.1	82.3	79.4
薬	68.6	66.7	68.2	70.6	72.1	72.3
看護	62.6	63.2	62.5			
園芸	58.6	61.1	59.7	63.2	63.5	61.4

B 英語試験の概況

時間は 90 分。構成は大問 1、2 が長文、大問 3 が英作文「的」な問題である。出題の傾向は年によって変わるが、詳しくはパート C で確認すること。さらに、教育学部・中学教員養成課程・英語科教育分野のみ英語ライティング（200～250 語）が課される。

【時間と難易度の目安】

	内容・語数	時間	難度
1	読解	35～40	C
2	読解		
3	英作文	10～15	B～C

時間配分は 1 つの長文に 35 分というのを 1 つの目安にしよう。実際は 40 分かけても良いのだが、もう 1 つの長文が難しく時間がかかることもあれば、最後に筆記の答案を見直すことも必要なので、まずは 35 分で解けるように心がける。2018 年度の英作文は 10 分以内で解答できるが、2016 年度のように読解をしながら答えていく問題が出題される可能性もあり、2017 年度のように和文英訳が課され、作文に試行錯誤することも考えられるため、出題形式に合わせて 10～15 分ぐらいとする。

レベルについては、文章はやや難と言えるが、読む時間が十分にあることに加え、設問もストレートで解答のポイントもつかみやすい。英作文の難易度は出題形式によって変わるが、2018 年度は易しく B、2017 年度の英文和訳は C と言ったところだろうか。

C 出題形式ごとの分析とアプローチ

① 長文読解問題

【2018年 2月8日 大問1】

次の文章は、著者の娘スージーが話し始めたころについて書いたものです。本文を読んで、問1～問6の設問に答えなさい。＊が付いている表現には本文の後に注があります。また、本文中[. . .]とあるのは、原文を中略していることを示しています。

All of Suzie's early words were ambiguous* in one way or another. If she said *gone*, I had to note the situation where she used the word in order to work out what she was talking about. It might be something dropped on the floor, or someone leaving the room, or the TV being turned off. *Down* could mean that something had fallen down or she wanted to get down (from her high chair). *More* sometimes meant 'I do want some more' (food) as well as 'I don't want any more'. Even when she named things — and over half her early vocabulary consisted of names of people or objects — there was ambiguity. A dog was *dog*, but so were a cat and a bird, for a while.

And yet, ⁽¹⁾despite this lack of grammatical sophistication, these utterances were still sentences, not just isolated words. Suzie was saying them with a definite rhythm and melody, and everyone responded to them as if they were real sentences.

Dada, said with a rising intonation, meant 'Is that Daddy?' Said with a falling intonation it meant 'There's Daddy'. Said with a level intonation (and arms stretched out) it meant 'Pick me up, Daddy'. ⁽²⁾The different intonation patterns made them sound like a question, a statement, and a command — even though there was no sign of the grammar we associate with these three types of sentence. This was a clear contrast with the rather random vocalizations* Suzie had been making a few months before, when she was babbling* away, and nobody could work out what she was saying. Old grammar books used to say that 'a sentence expresses a complete thought'. Suzie certainly sounded as if she was expressing her first complete thoughts.

(省略)

- 問1 下線部(1)の理由を日本語で説明しなさい。
問2 下線部(2)が具体的にどのようなことを指しているかを日本語で説明しなさい。
問3 下線部(3)の用語が何を指すかを日本語で説明しなさい。
問4 下線部(4)を、指示語の指すものを明らかにする英語に書き換えなさい。
問5 下線部(5)を、指示語の指すものを明らかにして和訳しなさい。
問6 下線部(6)を英単語一語に書き換えなさい。

【形式・分析】

大問 1 と大問 2 の長文読解の問題。文章の長さはいかにある通り、700～800 語程度が多くみられるが、2017 年度大問 2 は 1300 語を超える文章だった。

2018 年度の長文の語数

	2018 年度	2017 年度	2016 年度
長文 1	840 語	700 語	840 語
長文 2	690 語	1310 語	630 語
合計	1530 語	2010 語	1470 語

2018 年度入試の大問構成

		2018 年	2017 年	2016 年
1	長文読解	内容説明 3 題 書き換え 1 題 英文和訳 1 題 同意表現 1 題	内容説明 4 問 英文和訳 2 問	内容説明 3 問 空所補充 1 問 書き換え 3 問 要約 (空所補充) 10 問
2	長文読解	内容説明 5 題 和訳 1 題	要約 (空所補充) 15 問 内容真意 5 問	内容説明 3 問 英文和訳 1 問 語句整序 1 問 空所補充 8 問

文章難易度は「やや難」で、立教や青山学院、早稲田・教育学部～文学部などと同等の文章レベルと言える。設問形式はここのところ変化が見られる。2017 年度までは、長文 2 題のうち 1 題は筆記問題であったが、もう 1 題は「サマリーに適語を入れる問題」や「内容の真偽を問う問題」も見られた。しかし、2018 年度は 2 題とも筆記問題になった。筆記の形式は内容説明、和訳が中心であるが、他にも同意表現を答える問題や英文の書き換え問題なども、その他の形式も出題される。

<サマリーに適語を入れる問題>

【2017年 大問2】

Q1. Read Section A. Fill each gap with the most appropriate **word from the text** to reflect the information in this section of the text.

There are many different kinds of wars and many different 1)_____, the most 2)_____ of which are resources, ideology and power struggles. There are 3)_____ examples of conflicts related to resources, including the recent Persian Gulf War when oil was the resource in question. Ideologies, such as religious belief or political concepts can also lead to war. In the Cold War, conflict between the capitalist USA and the communist Soviet Union increased the 4)_____ between the two countries. The third cause, struggles over power, is directly 5)_____ to the other two factors. In such cases, countries may try to increase their power at the expense of other countries, take advantage of the declining power of another nation in a war of 6)_____, or work 7)_____ in order to prevent a nation from becoming too powerful.

* この Q1 は本文中の語を埋めるものであるが、Q2 は与えられた語群から選択して埋める形式。

<内容の真偽を問う問題>

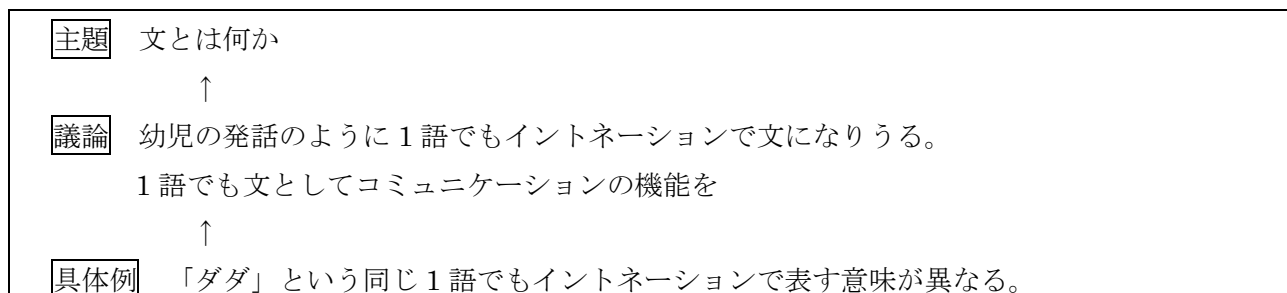
【2017年 大問2】

Q3. Read Section C. If the information is true according to the information in the passage, write T. If the information is not true according to the information in the passage, write F.

- 1) The concept of a “just war” that does not contradict Christian values is a modern legal concept.
- 2) One of the rules of warfare is that soldiers should try not to harm ordinary citizens.
- 3) All countries have agreed to prohibit weapons of mass destruction such as chemical and nuclear weapons.
- 4) Crimes against humanity include systematically killing a specific group of people and using people for inhumane experiments.
- 5) By 2000, some top military leaders of Bosnia-Herzegovina and Rwanda had been tried for war crimes.

【アプローチ】

筆記ということもあり、時間は1題につき35～40分使える計算で、落ち着いて本文を読む時間がある。抽象度のやや高い文章が多く、具体例などを理解しながら全体像を補っていくことも必要になる。例えば、2018年度の問題は「文とは何か」という内容の文章であったが、議論自体は抽象的な部分が多い。各論を読んでもそれだけだと分かりづらく、以下のように、実際に示されている例を読みながら、これらが何を言っているのかを補うが必要になる。



ただし、千葉大の筆記問題はポイントになる部分が下線部で示されているため、下線部の施されていない立教や青山学院、早稲田の問題と比べると理解のポイントも絞りやすい。まずは **First Reading** で8～10分ぐらいかけてほしいの論旨をとらえながら読んでいけばよい。

筆記問題の解答アプローチとしては、「抽象的な部分を具体化させていく」というプロセスをしっかりとることが何よりも大切である。一番典型的な例を出すか、「下線部を具体的に説明しなさい」「指示語を明らかにして」という設問は、言い換えれば「下線部や指示語は抽象的である」と言っているのである。その抽象的な部分をしっかりと特定し、それを本文の中で具体的に考えていくことが論理的な解答につながる。以下、2つの例を参考にしてほしい。

問2 下線部(2)が具体的にどのようなことを指しているかを日本語で説明しなさい。

<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">The different intonation patterns</div> made <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">them</div> sound like <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">a question, a statement, and a command</div>		
↓	↓	↓
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">様々なイントネーションパターンとは具体的にどんなことか</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">them は何か？</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">疑問、断定文、命令とあるが、具体的にどのような意味になるのか</div>
↓	↓	↓
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">文末が上がる、文末が下がる、腕を伸ばしながらの平坦なイントネーション</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「Dada」という発話</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「あれはお父さんの？」という疑問文、「お父さんがいる」という平叙文、「お父さん、抱っこして」という命令文</div>
<div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">↓</div>		
<p><MAX 解答例></p> <p>「Dada」という同じ言葉でも文末が上がるのか、下がるのか、はたまた腕を伸ばしながら平坦なイントネーションなのかによって「あれはお父さんの？」、「お父さんが来た」、「お父さん、抱っこして」といったように疑問文にも断定文（平叙文）にも命令文になること。</p>		

もう1つの例を見てみよう

問3 下線部(3)の用語が何を指すかを日本語で説明しなさい。

They call them *holophrases*.

them が何か

Linguists have devised a technical term for these primitive one-word sentence.

「これらの原始的な1語の文」ではまだ抽象的。もっと具体的な説明を加える

They are universal feature of language acquisition at this age, ... between twelve and eighteen months they will go through a holophrastic stage.

<MAX 解答例>

12～18 か月の幼児が発する単語1語で成る未熟な文

「抽象的な部分を特定し、具体的に答える」という中でどこまで具体化させるべきかという判断がやや難しい。例えば、上の問3を見ても「1語で成り立つ文」という最初の具体化で止まってしまいそうで、なかなか「12～18 か月後の子供が発する」という説明を付け加えるところまでいくかどうかの判断に迷うところだ。その際の判断基準は「本文を読んでいない人が自分の解答を読んだとき、理解してもらえるかどうか」ということである。例えば、「1語で成り立つ文」というだけでは、ぼんやりとしたイメージしか伝わらないし、大人の発話でもよいことになる。しかし、ここでは「幼児が発する1語の文」という部分が大切なわけで、そのことは「1語で成り立つ文」だけでは相手に伝わらない。その点から言うと、「12～18 か月の」という月齢の特定がなくても「幼児」という言葉があれば解答を読む側の理解にズレはなく、正解と言える。また、代わりに「言語習得の過程において」という言葉で代用することも良い。

とはいっても、何回も過去問や類題を解き、解答作成のセンスを磨く必要がある。ただ単に過去問を解いて答え合わせするのではなく、模範解答をもとに、「抽象→具体」というプロセス、どこまで具体的な情報を書くべきか、ということは何度も確認しながらスキルアップしていこう。

【MAX 感想】

2018 年度の大問2は、下線部が短いこともあり「どのような説明を求めているのか」を咀嚼するのが難しかった。例えば「(6)the climbers はどのようなことをする傾向のあるものか」という設問があるが、下線部の表す比喩が抽象的であることに加え、本文にはっきりと答えが書いているわけではないため、解答を導くのに苦労するであろう。

時間は、筆記の答えを整えることも含めて、1題25分で終わった。ファーストリーディングで8分、解答で15～17分といったところ。答えをすらすらかけるところもあれば、文章を推敲しながら書いたところもある。見直しの時間を入れることも考えると、生徒は35分という時間目安がやはり妥当だと感じた。

大問 3

【2018 年 大問 3】

A・B の問題に答えなさい。

A. 1～5 の上下の英文が同様の意味になるように、太字で書かれた単語を含む 2～4 語の単語を空欄に入れなさい。

例) The party was a success because everybody remembered to bring a present.

forgot

The party was a success because no one forgot to bring a present.

1. The table was too heavy for Charles to lift.

strong

Charles was () to be able to lift the table.

2. I think my hair needs cutting. I'll go to the hairdresser's tomorrow.

my

I think I ought to (). I'll go to the hairdresser's tomorrow.

B. 1～3 の文を指示に従って書き換えなさい。

例) 同様の意味になるように、与えられた出だしに続けて文を完成させなさい。

My father refused me permission to go to the party.

My father wouldn't let me go to the party.

1. 同様の意味になるように、主語を Laura とする文に書き換えなさい。

People think that Laura paid too much.

2. 同様の意味になるように、引用符(“ ”)を用いないで発言内容を伝える文に書き換えなさい。

“I'll probably see you later,” said William to Mary.

【形式・分析・アプローチ・MAX 感想】

大問 3 は、一応「英作文」というセクションだが、書き換えから和文英訳から様々なものが出ている。2018 年度の問題は書き換えであるが、英作文というよりは構文や文法の筆記問題という要素が強い。どのような表現を使うべきかは容易に判断できる。以下の例のように動詞の形の変化に気を付けてミスないように書く。このレベルの問題であれば落とさずに点に結び付けよう。目標 8 割。

1. 同様の意味になるように、主語を Laura とする文に書き換えなさい。

People think that Laura paid too much. Laura is thought to have paid too much.

現在 過去 現在 完了形
 それより前のことを表す

S is thought to do の表現を使う
+
注意 時間のずれを表す
is thought to have Ved

<2017 年の形式>

【2017 年 大問 3】

以下の一連の文章の内容を英語で表現しなさい。

(1)「あまり時間が取れないんです。」(2)運動するのを嫌がる人が良く口にする言い訳だ。(3)一日に 20 分でもすれば、何もしないより絶対いいのに。(4)結局、自分の健康をどのぐらい切実に考えているかなんでしょね。

2017 年度は和文英訳であるが、この問題は 2018 年度と比べるとかなり難しいが、部分点を積み重ねることができるため、基本的な構文はしっかり抑え、取りこぼさないようにしたい。

なんとなく書き始めるのではなく、どのような語句、構文を使うのかを判断して、原文の意味を守りながら書いていこう。

例)

運動するのを嫌がる人が良く口にする言い訳だ。	→ ・(これは) 言い訳だ → This is an excuse ・運動 = exercise ・運動を嫌がる人 = those who hate exercise
一日に 20 分でもすれば、何もしないより絶対いいのに。	→ ・絶対いいのに = It should be absolutely better (should に「～なのに」のニュアンスを入れる) ・to have 20 minutes' exercise a day ・to have nothing / to do nothing を比較する

④ ライティング (教育学部・中学教員養成課程・英語科教育分野のみ)

【2018年】

There are many kinds of dictionaries we can use when we study. These include paper dictionaries, electronic dictionaries and online dictionaries. Which kind of dictionary do you think it is better to use when you study English?

Write your opinion including reasons and examples in around 250 words. Count the total number of words and write it in the square on the answer sheet.

<過去の問題>

【2017年】

The minimum age at which Japanese people can vote has now changed from 20 to 18. However, the age of becoming an adult is still 20. Do you think this should also be changed to 18?

【2016年】

The Internet has become a very important part of our lives. Many people have tablets and smart phones, which enable them to access the Internet wherever they are. Do you think students should be allowed to use the Internet in the classroom?

【2015年】

In recent years there has been an increasing emphasis on globalization. It is becoming more and more important for us to communicate with people from all over the world. This does not necessarily mean only using English. There are many other languages spoken in the world. However, most Japanese high school students only learn English. In contrast, students in some other countries learn two or three different languages. Do you think that Japanese students should also learn a second foreign language in high school?

【形式・分析・アプローチ】

与えられたお題に対して 250 語程度で作文をする。まず 250 語という文量を埋めるだけの内容を書くために、ロジカルに構成を考えることから始める。60 分もあるので 5 分ぐらいは基本的な構成を考えるのに使っても良いだろう。その際、主張とそれぞれのボディーの文だけはある程度イメージして書くことが大切である。

論理構成のプロセス

- ① 問題文の抽象的な部分を特定し、具体化して、自らの主張を答える。(主張)
- ② それに対して Why、How という 2 つの要素を答える。(議論)
- ③ Situation や条件を具体的に述べる。(具体例、サポート)



2018 年の問題でやってみよう

① **抽象的な部分を特定し、具体化する**
「英語学習において良い辞書」の条件や機能は何か

- (1) 使いやすく、効率的であること
- (2) 様々な関連情報にアクセスし、コンテキストの中で勉強できること
- (3) 個人に合った学習ができること

↓

自らの主張を答える
オンライン辞書が好ましい

ここでは例として 3 つ挙げているが、1 つ 1 つの内容を濃くするために、2 つ書ければよい。(1)と(2)を 1 つの議論にしてしまうことも可能。

② **Why と How という 2 つの要素を考える** → ③ **Situation や具体例**

- (1) 持ち歩く必要がなく、スマホがあればどこでも利用可能である
→ スマホは必須アイテムであり、それ以外のお金も物もかからない
- (2) 様々な authentic resource につながっているため、本物の文脈の中で英語が理解できる
→ クリックすることにより、関連した情報につながるができる
文字や音声はもちろんのこと、動画など、あらゆるリソースを使った包括的な学習につなげやすい
- (3) 自分の学習歴に基づいてオリジナル単語帳を作成することができる。
学習時間を記録し、振り返ることで、より効果的な学習につなげることができる

④ **結論、まとめ**
ネットや PC の技術を活用することで、単に単語を調べるという旧来型の辞書の機能を超えて、個人に合った最適な言語学習を助けるツールとして、オンライン辞書は学習に新たな価値を付与してくれている。
↓
よって、オンライン辞書が英語学習において好ましい。